

November 2018
Autumn

特集

"Chuo Law"の源流 一英吉利法律学校が刊行した 英文法律書一









英吉利法律学校翻刻「英文法律書」

"Commentaries on the Constitution of the Empire of Japan" (英訳帝国憲法義解)いずれも初版 (1889)

CONTENTS

- ■特集 "Chuo Law"の源流—英吉利法律学校が刊行した英文法律書— 法学部教授 北井辰弥
- ■玉籍磋磨の詩 名誉教授 小川晴秋
- ■<後楽園キャンパス>「Active Learning Space (アクティブラーニングスペース)」オープン!
- ■学長・副学長、オススメの一冊
- ■プレゼンホールをご存知ですか?
- ■新収資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録(2017.8~2017.12 収集分)

中央大学図書館

特集

"Chuo Law"の源流

一英吉利法律学校が刊行した英文法律書-

法学部教授 北井 辰弥

中央大学は1885 (明治18) 年に英吉利法律学校として設立されました。今回は、そこで出版された英文法律書について紹介します。明治10年代には、刑事法は「国内法」が整備されていましたが、中身はフランス法でした。民事法は法典がなく「条理」といって外国法で裁判がおこなわれていました。いまなら六法をひくところ、法廷で英文法律書をひらく代言人(弁護士)もいたようです。

英吉利法律学校はイギリス法を「邦語」で教えると校則でうたいました。他の法律学校でも外国法が日本語で教えられていました。権利とか債務といった翻訳語が少しずつ定着し、日本語で教えられるようになったのです。ところが、英吉利法律学校の場合、校長の増島六一郎*1は当初から別の構想をいだいていました。開校式の祝辞(これは英語でおこなわれました)で、将来イギリス法を英語で教えると述べていたのです。

翌1886年の6月には、第二科(原書科、後に英語法学科)の募集がはじまります。同じ月の『法学協会雑誌』には、英吉利法律学校が「帝国大学より数百部の原書を譲り受け、従来の通常科の外別に原書科を設け、教科書は之を貸与し、専ら英米の原書に依り法律学を教授す、又法律書庫を設け、広く内外の法律書を渉猟するの便を与え、以て学術の蘊奥を究めしめんとするは同校当初よりの目的なり」とあります。学校設置の目的の一つは法律書庫の設立でしたが、原書科と書庫の深い関係がわかります。この法律書庫は中央大学図書館のルーツといえるものです。

教科書が貸与されたのは、舶来の法律書が平均一冊4円と高額だったからです。当時学校は夜学で、生徒たちの多くは昼は小学校の代用教員や会社の給仕をしていました。4円は彼らの月給とほぼ同額ですから、とても手が出ません。寄贈書だけではたりなかったようです。学校は法律書の翻刻をはじめます。翻刻というのは、新たに活字を組みなおして出版することです。東大が英語の教科書を翻刻していましたから、そうした前例を参考にしたのでしょう。著作権に関するベルヌ条約に日本が加盟するのは1899年ですから、これらの翻刻本はいわゆる海賊本ではありません。

英吉利法律学校の翻刻本がユニークだったのは、一般を対象に前金購読者を募って雑誌形態で刊行したことです(表紙図左)。1886年10月24日の『東京日日新聞』(現

『毎日新聞』)では「今ヤ内外人ノ交際日ニ繁キヲ致スノ秋ニカリ、区々邦語ニ依リ外国法律ヲ授クルカ如キハ、未以テ有為ノ士ヲ陶冶スルニ足ラサルナリ」と出版の趣旨を説明し、「ブラツクストーン氏英法註釈(一八八〇年新版)〇アンソン氏契約法〇アンダーヒル氏私犯法〇マークビー氏法律論綱〇スミス氏商法〇ウイルリアム氏不動産法〇テリー氏法律原論○ブルムー氏英法註釈○スミス氏訴訟法」の出版を予告していました。

同紙の11月3日の広告は「THE IGIRISU HORITSU GAKKO TEXT-BOOK 英文法律書 第一号第二号出版セリ●第一号目次ブラツクストーン氏英法註釈○スミス氏商法○スミス氏訴訟法●第二号目次○ブラツクストーン氏英法註釈○マークビー氏法律論綱○アンダーヒル氏私犯法○アンソン氏契約法●毎月三回出版一ケ月前金九十銭…神田錦町英吉利法律学校 神田小川町通錦水堂」と連載開始を伝えています(図1)。錦水堂は学校の幹事渡辺安積*1の書店です。

その後の広告によれば、翌年6月の第25号でまず「アンダアヒル氏私犯法」が完結したようです。購読者は、雑誌を分解し綴じ直したものと思われます。これは校外生*2



図 1「英文法律書」広告(『東京日日新聞』1886. 11. 3)◎毎日新聞社

THE IKICHO122

の講義録と同じ方式でした(本誌 My CUL31号をご参照くだ さい)。この頃翻刻事業に追い風が吹きます。「外国教師の 俸給、原書購求費等の補助」として司法省から毎年5,000 円の交付を受けることになったのです。この一部は出版 費用にあてられたはずです。

1888年6月24日の『東京日日新聞』の広告では「アン ダアヒル氏私犯法 定価一円四十銭 スミス氏訴訟法 同 一円五十銭 マアクビー氏法律論綱 同一円八十銭 ニユ ソン氏商船法 同九十銭 アンソン氏契約法 同一円九十 銭 フオレル氏論理学 同七十五銭 ケント氏会社法 同 六十銭 ポロツク氏組合法 同一円四十銭」とあります。 さらに近刊書として、「パウエル氏証拠法 ブラクストー ン氏英法註釈 ブルーム氏慣習法 チヤーマル氏流通証書 法 スミス氏商法 ストリー氏代理法 ウイリアム氏動産 法」の書名があがっています。学校は単行本としての販売 もはじめたようです。中央大学の図書館には、同じ書名で も装丁の異なるものが多数収蔵されています(図2)が、 学校が製本したものには、「発行所英吉利法律学校 翻刻 出版人増島六一郎」などの和文奥付があります(図3)。

出版業務をになったのは錦水堂でした。そこで校正を担 当した斎藤精輔*3は「有力なる法律書販売店無きその頃 の事とて、市内の法律学生その店前に市をなし、争い競い てその翻刻書を求めし」と盛況ぶりを伝えています。雑誌 出版の形跡のないものもありますが、初めから単行本とし て販売されたのでしょう。「テリー氏法律原論」は結局出 版されませんでした。もともと丸屋(丸善)が出版してい ましたから、東大からの寄贈と丸善からの購入でまにあっ たのかもしれません。

原書科(英語法学科)の授業はどのようなものだったの でしょうか。初年度は40名が入学し、まずまずのスター トでした。科目名は「アンダーヒル氏私犯法」などと原書 の名前と同じでした。1890年に卒業したト部喜太郎*4は、 「各教師の教授法はテキストブックを順次訳読」させるも のだったと振り返っています。英語による授業という言葉 から連想するものとはずいぶんちがいます。一方、邦語科

では、教師が手もとの原稿を読み上げ、生徒はそれを筆記 するだけでしたから、原書科のほうが予習して発言するだ け、アクティブだったともいえます。

これが増島が目指したものだったかはわかりません。 この頃生徒の英語力向上のため、英吉利法律学校内に英 語予備科が設置されています。それでも1889年2月の卒 業式で、増島は英語で「本校の生徒に英語の演説に対す る十分な理解力を修得した者が少なくないことを知るこ とは、私にとって満足の極みである」と述べていますか ら、それなりの手ごたえを感じていたようです。翻刻本の 特徴についてもふれておきましょう。総数で28タイトル が翻刻されました。法律書は「フオレル氏論理学」をの ぞく27冊です。教科書にふさわしい定評のある本が選ば れています。「ポロック氏組合法」は、イギリス法の本と しては珍しく条文形式で書かれていて、1890年にはその 条文がそのまま Partnership Act 1890 として法律になっ た名著です。18世紀の古典「ブラックストーン氏英法注 釈」も翻刻されたのは、ロバート・カーによる学生版で した。ここで注目すべきなのが、K. Yamada、"The law of sales : abridged from the treatisé of J.P.Benjamin Q.C. and recent cases in the "Law Journal" and other reports"です(図4)。これは、967頁のベンジャミンの 大著(この本は多くの版を重ねていて、2017年の最新版 は10万円ほどで入手できます)を山田喜之助*1が学生向 けに162頁に要約したものです。山田は穂積陳重*1が「テ キストブック・ライター」と呼んだ多作家ですが、あらた めてその活動ぶりに驚かされます。

英吉利法律学校の刊行物として忘れてはならないものが あります。明治憲法の起草を指揮した伊藤博文の『帝国憲 法義解』の英訳も英吉利法律学校から刊行されています (表紙図右)。伊東巳代治が訳した "Commentaries on the Constitution of the Empire of Japan" (1889) です。和 文の奥付には、版権所有者兼発行者として英吉利法律学 校総代高橋健三*1、発行所として英吉利法律学校の名前が しるされています。高橋は、英語の Notice で、伊藤博文



図2 全て「ポロック氏組合法」手前が学校が製本販売した単行本



図3 単行本の奥付

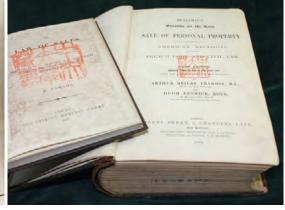


図4 ベンジャミンの大著(第3版・1884)と山田による要約本(左)

が English Law College に版権を与えたことに感謝の言葉を述べています (図 5)。国会図書館の憲政資料室には、高橋が取次役の伊東巳代治に送った手紙が保管されていますが、手紙とともに学校がこれまでに翻刻した英文法律書13 冊が進呈されたようです。伊東にはこれが効いたのかもしれません。

NOTICE.

His Excellency Count Ito has been plaused in Innovation to be ignited living that the blad feeling His Excellency has manifested towards in may be had in renormherance forever.

Take, the State of the Commentation in it of the equivigit of the English translation of the Commentation on the Committation of the Empire of Jupan," which has been undertaken and accomplished by Mr. Miyeji Ito, at the require of the Excellency: the equivigit of the original version be has bed the condescension of presenting on the Folkschlaw-Ki (Association for the Science of State).

Our administion of the apirit of disinterectelesses and of devotion to the innevents of the public, is grounty excited by the action of the disinguished down. The College feet developy grateful to bins for the honor be has conferred upon it.

We have published the work that it may be a hand book for all, thus by asker of its funds may be realized to be applied to the furthering of the

図 5 高橋健三の Notice

1889年7月23日の『読売新聞』は「その製本は誠に美麗にして…金字入りの緋表紙を付け紙質も精良」とほめ、この英訳を読めば義解を誤解しないといっています。わざわざ英語で読むのかと不思議に思うかもしれませんが、実際、渋谷慥爾*1は邦語科2年生を対象とした同年の「帝国憲法」の講義で、憲法37条の「帝国議会ノ協賛」とイギリス法上の議会の consent のちがいを論じています。英語法学科の講義録は残っていませんが、生徒たちはこの英訳本で訳語を確認しながら勉強したことでしょう。

明治憲法は、プロイセン憲法を手本にしたとはいえ、国 内法の整備という意味でやはり画期的でした。同年 10 月 に英吉利法律学校も東京法学院と校名を変更し、国内法の 教育と法曹養成に力を注ぎはじめます。もちろん英語で勉強したいという学生もいました。東京英語学校に学び東京法学院英語法学科に進んだ長谷川如是関*5もそうした学生の一人といえるでしょう。また、英吉利法律学校の翻刻本は、旧制高校の英語教育でも活用されたようです。現在、中央大学ではさまざまな学部で「英語による授業」がおこなわれています。英文法律書の刊行は中央大学グローバル化の源流といえるかもしれません。

参考文献

菅原彬州監修『超然トシテ独歩セント欲ス』(中央大学出版部,2013年)

中央大学史料委員会専門委員会監修『タイムトラベル中大 125』(中央大学, 2010年)

山崎利男『英吉利法律学校覚書』(中央大学出版部,2010年)

斎藤精輔『辞書生活五十年史』(図書出版社,1991年)

本書について、図書館の横内美佐子氏にご教示をいただきました。記して感謝の意を表します。

- *1) いずれも、18 人とされる英吉利法律学校の創立者のひとり。このうち、増 島六一郎は英吉利法律学校、東京英語学校の初代校長を務めた。増島はイ ギリスの伝統的法曹養成機関ミドルテンプルに留学し、1883 年バリスター・ アト・ローの称号を受け、帰国後は代言人として活躍した。
- *2) 現在の通信教育課程学生にあたる。
- *3) 三省堂の辞書編集・編纂者。日本で最初の本格的な百科辞典である『日本 百科大辞典』の編集を行った。本学の創立者である渡辺安積とは同郷であり、 彼を頼り上京した。
- *4) 東京法学院の卒業生で弁護士。卒業後は『法学新報』や『行政裁判所判決 録』の編集にも従事。弁護士としては「足尾鉱毒事件」や「シーメンス事件」 などを担当している。
- *5) 東京法学院の卒業生。卒業後は、新聞『日本』、『大阪朝日新聞』でジャーナリストとして活躍し、朝日退社後には大正デモクラシーを代表する論客となる。生涯にわたり在野の位置からペンを取り続け、1948年には文化勲章を受章した。

図書館では、この特集にあわせて

第28回中央図書館企画展示:

"Chuo Law" の源流

一英吉利法律学校が刊行した英文法律書-

を開催します。この機会にぜひご覧ください。

期間: 2018年11月21日(水)~12月19日(水)

場所:中央図書館2階展示コーナー



英訳『帝国憲法義解』初版~3版

THE IKICHO,42

中央図書館4階に一つの書額が掲げられてある。愛新覚羅溥傑(1907~1994)氏の書である。武山学氏の寄贈。

「光陰分寸を争い遊く水のごとし、玉籍磋磨器始めて成る」

溥傑氏は、清朝最後の皇帝(第12代 = 宣統帝)であり、また満州国最後の皇帝ともなった(二重の意味でラスト・エンペラーだった)愛新覚羅 溥儀(1906 ~ 1967)氏の実弟である。溥傑氏は日本の学習院高等科に留学後、日本陸軍にも学び陸軍士官学校、陸軍大学を卒業。満州国建国後、満州国の軍人として兄君をたすけ尽力した。武山 学氏は中央大学の卒業生であるが、日本軍の旅順予備士官学校を卒業後、満州国軍に移籍。軍官学校で愛新覚羅溥傑教官の教育を受けたという。

敗戦。溥傑氏自身とその家族の数奇な人生については幾つかの本が出ており、詳しいことはこれらに譲る。ちなみに、愛新覚羅 溥傑家関係資料と浩夫人の実家である嵯峨公爵家に関する資料が、関西学院大学博物館に保存されている。他方、武山氏は戦後中 央大学に奉職して第二の人生を歩んだ。

軍官学校で溥傑氏に教育を受けた人たちが中国に恩師を訪ね再会できたのは 37 年後の 1982 年のことであった。しかし翌年武山氏は、図書館事務部長として在職のまま急逝。武山氏の夫人は、書家としても名の高かった溥傑氏に夫の長年勤務していた中央大学の学生と図書館のためにと懇請、溥傑氏にとくに揮毫していただいた書が上記の書額である。

詩の内容については、漢籍に詳しい日中それぞれの研究者に教えをいただいた。それを以下に記する。まず、この書は二行からなる七言詩であるが、なにか既存の詩文を書したものではなく、溥傑氏のオリジナルの作である、とのこと。

キイとなる「玉籍」という言葉は、本来は仙人の持っている書籍のことであるが、転じてすぐれた書籍のことをさし、さらに 大学図書館を暗意している。まず一行目は、日本でもよく知られている「少年老い易く学成りがたし / 一寸の光陰軽んずべからず / 未だ覚めず池塘春草の夢 / 階前の梧葉すでに秋声」(朱熹)の詩をふまえ、また、二行目は「玉磋ざれば器を成さず」(礼記)を ふまえながら、この二つを「玉籍」で見事につないでいるという。



日本人の研究者は「高校時代に少しまじめに漢文を勉強した学生ならこの二行の詩の背景となっているものもわかるし・・・『玉籍』という言葉の意味も書籍の「籍」と「玉」という文字の意味から推測がつくわけだし・・・」、「うーんさすがだあ、若い学生の学ぶ大学の図書館にぴったりのすばらしい書だ」と感心することしきりであった。書体としても五行の真ん中に「玉籍」がくるように組み立てられている、とのこと。

また、中国人の研究者は、溥傑氏が「歴史や古典の素養がしっかりと豊かにあった方だったし、書家としても有名な方だったから」とも付け加えた。流水のごとき独特の流麗な書体は詩の文意とあいまって味わい深い。

後楽園キャンパス



2018年9月「Active Learning Space」オープン!

一理工学部分館 6 階をリニューアルしました—

理工学部では、平成30年度教育力向上推進事業「後楽園キャンパスにおける学び場の未来図」の一環として、図書館理工学部分館6階エリアを利用者のニーズ対応のため刷新し、新たな学習の場として、アクティブラーニングスペースを開設しました。静謐なイメージの図書館ですが、ここでは落ち着いて議論ができるブースや、学習形態により自由にレイアウトを変えられる机・椅子のブース、デジタル映像表示機能を搭載したタッチパネル・テーブルを囲んでのグループ学習ブースなど、多様な学習形態に対応可能な環境となっています。Wi-Fiや無線LANの環境も整備しました。

図書資料を利用しつつ、自主的に共同で学ぶことから得られる学習効果ならびに 学生相互のコミュニケーション能力の向上に新しい図書館のサービスを積極的にご 活用ください。



学長・副学長、オススメの一冊

中央大学学長・副学長の先生方に、学生時代に感銘を受けた本、 今皆さんに読んでもらいたい本の中から「この一冊」を選んでいただきました。 中央図書館2階で展示します。



知の周辺

水田洋著 講談社 1979 年 (講談社現代新書) 【所蔵】開架新書 講談社現代新書 /556

いつの時代も、大学人は、「知」との向き合い方を模索し続ける。中央大学の多摩キャンパスがオープンした頃、某 PR 誌に連載されていた興味ある随筆が一冊の新書にまとめられたというので、手にとって読んでみると、当時の知的生産技術を通して知の周辺を語りながら、知と知的生産の本質に迫っていく同書の筆致に魅了された。

駿河台での学生時代から、図書館の書庫で過ごす時間に妙な感じを覚えてはいたが、院生時代からは、多摩の中央図書館の本の森のような書庫に毎日入り込んでは、同書への共感を深めながら、学究への憧憬が志に変わっていったように思う。同書が図書館の役割に言及する部分は、当時の事情ではあろうが、とくに興味深かった。

今日、ICTの進展とAI・ビッグデータの利活用によって、知の

周辺と知的生産の条件は大きく変容した。しかし、同書は、時代によって手段を異にするものの、めざす先にある「知」へのアクセスの姿勢は、時代を超えて存在することを教えてくれている。「知とはヴィジョンをもつ能力であり、知的生産とはそのヴィジョンを展開したり立証したりすることだ」という一節は、いつまでも色褪せることはない。



学長 福原 紀彦 法務研究科教授



バイユーの綴織を読むー中世のイングランドと環海峡世界一

鶴島博和著 山川出版社 2015 年 【所蔵】中央書庫 233.04/Ts86

「バイユーの綴織 (tapisserie)」と呼び習わされている一大絵巻物は、1066年のノルマン人によるイングランド征服 (Norman Conquest)について、これを「征服」ではなく、ウィリアムの正当な権利に基づく王位継承であると主張する。この絵巻は、実際には綴織ではなく、リネン生地に施された刺繍絵であり、幅が約50㎝、長さ69mに及ぶものである。場面ごとに付されたラテン語の短い銘文はあるが、それ以上の解説はおこなわれていない。

本書は、後世縫い付けられた番号に従い、各場面ごとに絵解きを

おこなっている。絵巻自体が何も語っていないことから、本書は、絵巻とほぼ同時代の他の文献を手がかりに絵解きをおこなっており、学問的な価値の高い労作である。しかし、本書は、58幕に分けられた各場面について、それぞれの刺繍絵の写真を掲載して絵解きをおこなっており、臨場感溢れる解説となっている。門外漢でも十分に楽しめる著書である。





石橋湛山評論集

松尾尊兌編 岩波書店 1984年 (岩波文庫) 【所蔵】開架文庫 岩波文庫/青-168-1 中央小型 310.4/171

ジャーナリストとして活躍し、戦後7人目の首相を務めた石橋湛山は、東洋経済新報に終戦 直後に掲載した、論説「更生日本の門出」(本書に収録)において、日本は、植民地を失った ことによりその維持の負担から解放され、その不利益は貿易の自由により克服できる、科学精 神に徹すれば、更生日本の前途は洋々たるものがあると書きました。これを読み、ある著名な ジャーナリストは、湛山は頭が変だ、もう論説は書かない方がよい

と言ったそうです。しかし、その後の日本の発展は湛山の予言通り

となりました。湛山は、未来を見据える冷静な眼力を持っていただけではありません。一貫して、 自由主義者として、戦前に於いても時の権力に対して反骨的な言論を展開しました。明治天皇を祀 る明治神宮の造営より、ノーベル賞に倣い明治賞金を作れ、とも主張しました(「愚かなるかな神 宮建設の議 ほか」本書に収録)。湛山の硬骨な生き方が分かるだけ

でなく、彼が向き合った、明治・大正・昭和の社会や政治のありよ うがよくわかります。



副学長

大貫 裕之 法務研究科教授



花失せては面白からず一山田教授の生き方・考え方一

城山三郎著 角川書店 1996年 【所蔵】中央書庫·理工 331/Sh89

この本は私が世間の不条理を知り始めた学生時代に出逢いたかった一冊である。著者の城山 三郎と大学時代の恩師である山田雄三教授との間で開かれた「二人ゼミナール」でのやり取り が紹介されている。学問や社会に潜む対立する思想・価値の矛盾に対してどのように合意を見

出すのか、人が社会や組織で生きる以上、この難題から逃れること はできない。この本のテーマはそこにあるように思う。世阿弥の 『花伝書』に「花なくば面白き所あるまじ」(花失せては面白からず)

と矛盾する「花の萎えたらんことこそ面白けれ」という記述があるそうだ。山田教授からその矛盾 の解釈を求められた城山は、「花」そのものについて、社会に生きる人の態度の観点に立った解釈を 示している。私がこの本を20年以上手放せないのは、歳を重ねるほどに城 山の解釈に共感できる場面に遭遇するからであり、その度に城山の言う「花」 のように振舞おうと思わせてくれるからである。

河合 久 商学部教授

プレゼンホールをご存知ですか?

中央図書館4階のプレゼンホールをご存知でしょうか。プラズマディスプレイやプロジェク ターなどの AV システムを備えた施設で、講演会、講習会 こんな方はぜひ利用 開催のほか、担当教員の指導のもと学生の皆さんのプレゼ してみてください!!

学生にプレゼンテーションの トレーニングをさせたい

自分のプレゼンテーションの 様子を客観的に見てみたい

試験期間で学部の パソコン教室が満員!

PCロッカーに学生証をタッき してノートパソコンを利用可能!





利用方法はこちら

ンテーション能力を高める場として利用可能です。

大型モニターや プロジェクター パソコン、音響等完備! 施設内の録画機能有り。 プレゼンの様子を

新収資料紹介

教職員著作目録 2017.8 - 2017.12 配架図書一覧 ()は所属学部等

****		***	III WEAL	出版年月	\$720HB=C	=+-47-
青木 英孝 (総)	兹	書名 日本企業の戦略とガバナンス:「選択と集中」による多角化の実証分析 = Corporate	出版社中央経済社	2017.5	配架場所 中央書庫/開架	請求記号 335.4/A53
		strategy and corporate governance in Japan : an empirical study on diversification				
秋吉 貴雄 (法)		入門公共政策学: 社会問題を解決する「新しい知」(中公新書 2439)	中央公論新社	2017.6	中央書庫/開架	301/A38
浅田 統一郎 (経)		ミクロ経済学の基礎 第2版	中央経済社	2017.10	中央書庫/開架	331/A81
阿部 正浩 (経), 菅 万理, 勇上 和史	編著	職業の経済学	中央経済社	2017.10	中央書庫/開架	366.29/A12
阿部 正浩 (経), 前川 孝雄	編	5人のプロに聞いた!一生モノの学ぶ技術・働く技術	有斐閣	2017.10	中央書庫/開架	002/A12
石川 晃弘 (名), 佐々木 正道, ニコライ・ドリャフロフ	編	ロシア社会の信頼感	ハーベスト社	2017.7	開架	361.6/176
石島 博 (法務)		資産価格モデルの展開 (ファイナンスの理論と応用 3)	日科技連出版社	2017.9	中央書庫/理開	338.01/175
礒崎 初仁 (法)		自治体議員の政策づくり入門:「政策に強い議会」をつくる (COPABOOKS: 自治体議会政策学会叢書)	イマジン出版	2017.7	中央書庫/開架	318.4/185
礒崎 初仁 (法)	著	知事と権力:神奈川から拓く自治体政権の可能性	東信堂	2017.10	中央書庫/開架	318.237/185
井上 義朗 (商)	著	「新しい働き方」の経済学:アダム・スミス「国富論」を読み直す(いま読む!名著)	現代書館	2017.10	中央書庫/開架	331.42/157
岩田 重則 (総)	著	天皇墓の政治民俗史	有志舎	2017.5	中央書庫/開架	385.6/197
上野 清貴 (商)	著	会計理論研究の方法と基本思考	中央経済社	2017.7	中央書庫/開架	336.9/U45
大淵 博義 (名)	著	国税の常識 第19版	税務経理協会	2017.8	開架/市ヶ谷法務	345/019
大淵 博義 (名)	著	法人税法解釈の検証と実践的展開 第3巻	税務経理協会	2017.11	中央書庫/	345.3/019
					市ヶ谷法務	549.92/039
岡嶋 裕史 (総)	_	スラスラわかるC言語 第2版 (Beginner's Best Guide to Programming)	翔泳社	2017.10	開架/理開	007.64/039
小賀野 晶一 (法), 松嶋 隆弘		民法(債権法)改正の概要と要件事実	三協法規出版	2017.8	中央書庫/開架	324.4/021
高森 八四郎, 小賀野 晶一 (法)		民事法学の基礎的課題:植木哲先生古稀記念論文集	勁草書房	2017.10	市ヶ谷法務	324/Ta44
奥田 安弘 (法務)	著	家族と国籍:国際化の安定のなかで	明石書店	2017.7	中央書庫/開架	329.91/054
小塩節 (名)		「神」の発見:銀文字聖書ものがたり	教文館	2017.7	開架	193.09/077
モーリス・メルロ=ポンティ 加賀野井 秀一 (理) [ほか]	編著	東洋と哲学・哲学の創始者たち・キリスト教と哲学 (メルロ=ポンティ哲学者事典 第1巻)	白水社	2017.8	参考	103.3/Me66
車谷 麻緒, 樫山 和男 (理)	著	例題で身につける構造力学	丸善出版	2017.10	理開/理開指定	501.34/Ku79
金井 貴嗣 (法務), 土田 和博, 東條 吉純	編	経済法の現代的課題: 舟田正之先生古稀祝賀	有斐閣	2017.5	中央書庫/ 市ヶ谷法務	333/Ka44
国本 伊代 (名)	編著	カリブ海世界を知るための70章 (エリア・スタディーズ 157)	明石書店	2017.6	開架	302.59/Ku45
水野 謙, 古積 健三郎 (法務), 石田 剛		「判旨」から読み解く民法 (法学教室Library)	有斐閣	2017.5	中央書庫/開架	324/Mi96
小林 謙一 (文)		縄紋時代の実年代: 土器型式編年と炭素14年代	同成社	2017.11	中央書庫/開架	210.02/Ko12
酒井 克彦 (商)		裁判例からみる法人税法 2訂版	大蔵財務協会	2017.4	中央書庫/開架	345.3/Sa29
酒井 克彦 (商)		税理土業務に活かす!通達のチェックポイント:法人税裁判事例精選20	第一法規	2017.5	中央書庫/開架	345.3/Sa29
酒井 克彦 (商)		クローズアップ課税要件事実論:要件事実と主張・立証責任を理解する 第4版改訂増補版	財経詳報社	2017.9	中央書庫/開架	345.19/Sa29
塩見 英治 (名) [ほか]		観光交通ビジネス	成山堂書店	2017.6	中央書庫/開架	688/Sh74
鳥居 昭夫 (経), 岡田 啓, 小熊 仁	-		八千代出版			
塩見 英治 (名)	脂肪	自由化時代のネットワーク産業と社会資本		2017.6	中央書庫/開架	335.8/To67
篠原 正博 (経), 大澤 俊一, 山下 耕治		テキストブック地方財政	創成社	2017.6	中央書庫/開架	349.21/Sh67
金子 宏, 佐藤 英明, 増井 良啓, 渋谷 雅弘 (法)		ケースブック租税法 第5版 (弘文堂ケースブックシリーズ)	弘文堂	2017.10	開架/市ヶ谷法務	345.19/Ka53 712.34/R38/
杉田 達雄 (名)	著	リーメンシュナイダー : その人と作品	水声社	2017.8	中央書庫	Su46
鈴木 俊幸 (文)	編	出版文化のなかの浮世絵	勉誠出版	2017.10	中央書庫/開架	721.8/Su96
高田 太久吉 (名)	著	引き裂かれたアメリカ:富の集中、経済危機と金権政治	大月書店	2017.6	開架	332.53/Ta28
高橋 薫 (法)		バトスの受難: 考証の時代における追随の文化と自己発露の始まり,フランス近世初期 (中央大学学術図書 94)	中央大学出版部	2017.10	中央書庫	235.051/Ta33
高橋 則夫, 只木 誠 (法)	編	刑事法学の未来:長井圓先生古稀記念	信山社	2017.9	中央書庫/開架	326/Ta33
荻原 猛, 田中 洋 (戦略)	著	ネットビジネス・ケースブック	同文舘出版	2017.8	中央書庫/開架	670/025
中央大学経済学部	編	高校生からの経済入門	中央大学出版部	2017.8	中央書庫/開架	331/066
長尾一紘(名)	著	世界一非常識な日本国憲法 (扶桑社新書 250)	育鵬社	2017.9	開架/市ヶ谷法務	323.14/N17
中川 洋一郎 (経)	著	牧夫・イヌ・ヒツジ (新ヨーロッパ経済史 1)	学文社	2017.9	中央書庫/開架	332.3/N32
中川 洋一郎 (経)	著	資本・市場・石炭 (新ヨーロッパ経済史 2)	学文社	2017.10	中央書庫/開架	332.3/N32
平野 晋 (総)	著	ロボット法: Alとヒトの共生にむけて	弘文堂	2017.11	中央書庫/開架	501.9/H66
吉田 栄介	編著	日本的管理会計の深層	中央経済社	2017.7	中央書庫/開架	336.84/Y86
福島 一矩 (商), 妹尾 剛好, 徐 智銘福原 紀彦 (法務)	百	企業組織法:会社法等(企業法要綱3)	文眞堂	2017.5	中央書庫/開架	325.2/F75
星野智(法)		ルイドロポリティクス = Hydropolitics	中央大学出版部	2017.9	中央書庫/開架	517/H92
升田 純 (法務)		民法改正と請負契約:建設請負業者への影響:100年振りの改正	大成出版社	2017.10	中央書庫/	510.95/Ma66
	_				市ヶ谷法務	
木村 正俊, 松村 賢一 (名) 庄司 克宏	絙	ケルト文化事典	東京堂出版	2017.5	中央書庫/参考	M233.8/Ki39
佐藤 真紀, 宮下 紘 (総) [ほか]	著	インターネットの自由と不自由:ルールの視点から読み解く	法律文化社	2017.7	開架/総合政策	547.8/Sh96
宮本 太郎 (法)		転げ落ちない社会: 困窮と孤立をふせぐ制度戦略	勁草書房	2017.10	中央書庫/開架	364/Mi77
G.W.F.ヘーゲル 村岡 晋一 (理), 吉田 達	著訳	ヘーゲル初期論文集成:全新訳	作品社	2017.4	中央書庫/哲学	134.4/H51
矢内一好(商)		Q&A国際稅務の最新情報	財経詳報社	2017.7	中央書庫/開架	336.98/Y54
中平 千彦, 薮田 雅弘 (経)	編著	観光経済学の基礎講義	九州大学出版会	2017.7	中央書庫/開架	688/N33
山田 昌弘 (文)	著	悩める日本人:「人生案内」に見る現代社会の姿 (ディスカヴァー携書 183)	ディスカヴァー・	2017.8	中央書庫/開架	360/Y19
鷲谷 いづみ (理)	著	絵でわかる生物多様性 (絵でわかるシリーズ)	トゥエンティワン 講談社	2017.9	開架/理開	468/W44
後藤章	絵	ME C1717 ②土107岁13Fは(ME C1717 ③ンリー人)	i冉i兴1上	2017.9	用禾/ 珪開	400/11/44

^{* (}法): 法学部、(経): 経済学部、(商): 商学部、(文): 文学部、(総): 総合政策学部、(理): 理工学部、(法務): 法務研究科、(戦略): 戦略経営研究科、(研): 研究開発機構教授、(名): 名誉教授 * 配架場所は2ヶ所までとした

